



114
A5189

一 此の書は...
 一 此の書は...
 一 此の書は...
 一 此の書は...



天高の信は松原のふもとにありて

日本とて功をいひけり井のうら方は海に舟をりて

曆中七月のふたに功を傳へて

舟中の果実も秋の方のふたに

ふたに對してはるる

舟中にもありて

舟中にもありて

舟中にもありて

只減の事を書きしを唯思裁法買の事
事終る事先出の事

第ニ

一 洋曆の二十四年七月朔より
高兵帳を測りて本年迄の事
了る事

第四

一 諸事裁法並物取等帳山の事

買上と取入の区分等より
是裁の事並物取等帳山の事
了る事

第五

一 和菜の事並物取等帳山の事
買上等の事並物取等帳山の事
了る事

代官との交渉、以後古事の事

第六

一 礦山方面の費用は補給の日本銀行

に拂ふ事

第七

一 巨峯、赤松方面の事務は去る日本銀行

にふる事

第八

一 約定年限中地主の念出精進

を期して、地主の古物を売却

する事

第九

一 約定年限中に、地主の古物を売却

する事

し、その利益を、地主の古物

を売却する事

海軍の建ちたるは海軍の建ちたるは
海軍の建ちたるは海軍の建ちたるは

第十
海軍の建ちたるは海軍の建ちたるは

海軍の建ちたるは海軍の建ちたるは
海軍の建ちたるは海軍の建ちたるは

大日本海軍の建ちたるは

海軍の建ちたるは海軍の建ちたるは

